

※高齢者(65歳以上)への用量制限

	初回のみ	継続
睡眠薬	マイスリー5mg ルネスタ 1mg	ベルソムラ 15mg ルネスタ 2mg ハルシオン 0.25mg サイレース 1mg
抗不安薬	—	ソラナックス 1.2mg デパス 1.5mg
抗精神病薬	—	—
抗うつ薬	—	トレドミン 60mg
気分安定薬	—	—
抗認知症薬	—	—
その他	—	—

<http://commulabo.com>

※肝機能障害や腎機能障害での減量

	肝機能障害で減量	腎障害で減量
睡眠薬	全て (ロラメットを除く)	ルネスタ
抗不安薬	全て (ワイパックスを除く)	—
抗精神病薬	全て	リスパダール、インヴェガ、クロザリル、ベンズアミド系 (ドグマチール、グラマリール)
抗うつ薬	全て	パキシル、トレドミン、サインバルタ、リフレックス
気分安定薬	全て	リーマス、ラミクタール
抗認知症薬	全て	メマリー、レミニール
その他	全て	ビ・シフロール、レグナイト、レグテクト

※運転可能(禁止なし)

睡眠薬	超短時間作用型、短時間作用型 ※睡眠終了後に可能
抗不安薬	なし
抗精神病薬	なし
抗うつ薬	SSRI(ルボックスを除く)、SNRI
気分安定薬	なし
抗認知症薬	レミニール

心療内科・精神科の薬(2024)

- 睡眠薬□使用例
- 抗不安薬□使用例
- 抗うつ薬□使用例
- 気分安定薬□使用例
- 抗精神病薬□使用例
- 抗認知症薬□使用例
- 薬剤性パーキンソン症候群治療薬
- ADHD治療薬
- アルコール依存症治療薬

※肝障害や腎障害での減量

※運転可能な薬

※長期処方可能な薬

※胎児リスク

※高齢者への用量制限

□使用例

	薬剤
入眠困難	マイスリー、レンドルミン
中途覚醒、浅眠、早朝覚醒	レンドルミン、サイレース、ベンザリン
高齢	デエビゴ、ロゼレム、マイスリー
不安による不眠	デパス
肝障害	ロラメット

※注意

朝の眠気(持ち越し効果)

ふらつき(転倒)、呂律不良、呼吸抑制←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

■睡眠薬

	一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考	
				催眠	筋弛緩	抗痙攣	依存性		
一 超 短 時 間	非 ベン ゾ 系	レンボレキサント	デエビゴ	2.5-10mg	+	0	0	オレキシン受容体拮抗薬 併用禁忌:フルボキサミン	
		スボレキサント	ベルソムラ	15-20mg	±				
		ラメルテオン	ロゼレム	8mg					
				ゾルピデム	マイスリー	5-10mg	+	±	翌朝にやや苦味 翌朝に苦味
				エスゾピクロン	ルネスタ	1-3mg			
				ゾピクロン	アモバン	7.5-10mg			
短 時 間	ベン ゾ 系	トリアゾラム	ハルシオン	0.125-0.5mg	++	+	±	++	夜間せん妄
		ブロチゾラム	レンドルミン	0.25mg	+	+	±	+	
		ロルメタゼパム	ロラメット	1-2mg	+	+	±	+	重度肝障害にも可
		リルマザホン	リスミー	1-2mg	+	+	±	+	ベンゾ誘導体
中 時 間		エスタゾラム	ユーロジン	1-4mg	+	+	±	+	
		フルニトラゼパム	サイレース	1-2mg	++	++	±	++	注射剤も
長		ニトラゼパム	ベンザリン	5-10mg	+	++	++	+	
		クアゼパム	ドラール	15-30mg	+	+	±	+	

■抗不安薬

		一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考
					抗不安	筋弛緩	抗痙攣	依存性	
短時間	非	タンドスピロン	セディール	5-60mg/1-3x	±	0	0	0	セロトニン作動性
		トフィソパム	グランダキシン	50-150mg/1-3x	±	±	±	±	自律神経調節作用
	クロチアゼパム	リーゼ	5-30mg/1-3x	±	±	±	±		
	エチゾラム	デパス	0.25-3mg/1-3x	++	++	±	++	催眠作用も	
中時間	ベンゾ系	アルプラゾラム	ソラナックス	0.4-2.4mg/1-3x	+	+	±	+	
		ロラゼパム	ワイパックス	0.5-3mg/1-3x	+	+	±	+	重度肝障害にも可
		ブロマゼパム	レキソタン	1-15mg/1-3x	+	+	±	++	
長時間	ベンゾ系	クロキサゾラム	セパゾン	1-12mg/1-3x	++	+	+	++	
		ジアゼパム	セルシン	2-15mg/1-3x	+	++	++	+	注射剤は緩徐静注 坐剤
			ダイアップ	4-10mg/1x					
超		クロナゼパム	リボトリール	0.5-6mg/1-3x	+	++	++	+	抗てんかん薬
		ロフラゼプ	メイラックス	1-2mg/1x	+	+	+	+	

※長期処方可能(30日制限なし)

睡眠薬	デエビゴ、ベルソムラ、ロゼレム、ルネスタ、リスミー、ベンザリン
抗不安薬	セディール、グランダキシン、セルシン、ランドセン、フェノバル
抗精神病薬	全て
抗うつ薬	全て
気分安定薬	全て
抗認知症薬	全て

※胎児へのリスク

	低	中	高
睡眠薬	—	ハルシオン、ユーロジン、 ドラール	マイスリー ダルメート
抗不安薬	—	ワイパックス、セルシン	ソラナックス メンドン
抗うつ薬	サインバルタ リフレックス	ジェイゾロフト、レクサプロ イフェクサー、トレドミン ルボックス	パキシル
気分安定薬	ラミクタール、テグレトール	—	デパケン、リーマス
抗精神病薬	全て	—	—
ADHD 治療薬	ストラテラ、インチュニブ	コンサータ	ビバンセ
漢方薬	全て	—	—

■ 薬剤性パーキンソン症候群治療薬

一般名	商品名	用量用法	備考
ビペリデン	アキネトン	1-6mg/1-3x	抗コリン作用→認知機能低下 ※筋注剤も
バルベナジントシル	ジスバル	40-80mg/1x	遅発性ジスキネジアのみに適応

■ ADHD治療薬

	一般名	商品名	用量用法	備考
ドパミン刺激薬	リスデキサンフェタミン	ビバンセ	30-70mg/1x朝	食欲不振、不眠 ※登録必要
	メチルフェニデート	コンサータ	18-72mg/1x朝	
選択的アドレナリン受容体作動薬	グアンファシン	インチュニブ	1-6mg/1x	めまい、過鎮静
NRI	アトモキセチン	ストラテラ	40-120mg/1-2x	嘔気

■ アルコール依存症治療薬

	一般名	商品名	用量用法	剤型	半減期	備考
減酒薬	ナルメフェン	セリンクロ	10-20mg/1x			※専門医処方
	アカンプロサート	レグテクト	2g/3x			
抗酒薬	シアナミド	シアナマイド	7ml/1x朝	液剤	1日	禁忌：多量飲酒 →劇症肝炎
	ジスルフィラム	ノックビン	0.1g/1x朝	粉末剤	1-2週	

■ 抗認知症薬

	一般名	商品名	用量用法	適応			副作用	備考
				軽度	中度	高度		
コリン 作動薬	ドネペジル	アリセプト	3→5mg/1x(1-2w) 5-10mg/1x	○	○	○	下痢 興奮	貼付剤
		アリドネ	27.5mg-55mg					
	ガランタミン	レミニール	8→16mg/2x(4w) 16-24mg/2x	○	○	×	貼付剤	
	リバスチグミン	イクセロン リバスタッチ	4.5→9→13.5 →18mg(4w)					
NMDA 拮抗薬	メマンチン	メマリー	5→10→15 →20mg/1x(1w)	×	○	○	めまい	
※新薬	レカネマブ	レケンビ		○	×	×		注射剤

□ 使用例

		薬剤
初期	抑うつ	アリセプト、レミニール、イクセロン
	興奮	メマリー
中期～後期		アリセプト増量＋メマリー

■抗精神病薬

	一般名	商品名	用量用法	作用			副作用			備考								
				抗幻	気分	鎮静	振戦	便秘	高糖									
第2世代	SDAM	ブレクスピプラゾール	レキサルティ	1-2mg/1x	+	+	±	0	±	±	持続筋注剤も							
	DPA	アリピプラゾール	エビリファイ	3-30mg/1x朝														
	SDA	ルラシドン	ラツーダ	40-80mg/1x食後	+	+		±			±	食後内服						
		ペロスピロン	ルーラン	12-48mg/3x								抗不安作用も						
		ブロナンセリン	ロナセン	8-24mg/2x食後								テープ剤も						
		パリペリドン	インヴェガ	3-12mg/1x朝								0	0	+	+	+	+	=リスパ0.5mg
			ゼプリオン	25-150mg/4w														持続筋注剤
			ゼプリオンTRI	175-525mg/12w														(TRI: 3.5倍量)
		リスペリドン	リスパダール	1-12mg/1-2x											+			+
	リス・コンスタ		25-50mg/2w	持続筋注剤														
	MARTA	アセナピン	シクレスト	10-20mg/2x	+	++	++	±	±	±	±	舌下錠						
		オランザピン	ジプレキサ	2.5-20mg/1x	+	++						±	+	++	++	禁忌:		
		クエチアピン	セロクエル	25-750mg/2x	±	++						0	+			糖尿病		
		クロザピン	クロザリル	12.5-600mg/2x	++	0						+	++			白血球減少		
第1世	ブチロ系	ハロペリドール	セレネース	0.75-20mg/1-3x	++	0	+	++	+	+	注射剤も							
	フェノ系	レボメプロマジン	レボトミン	5-200mg/1-3x	±		++	+	++	+	+	筋注剤も						
	その他	ゾテピン	ロドピン	25-450mg/2-3x	+		++	+	+	+	+	けいれんリスク						

□使用例

		薬剤
不安時	軽度	リーゼ
	中等度～重度	ソラナックス、デパス
	高齢	セディール、グランダキシン
	肝障害	ワイパックス
けいれん発作	発作重積	セルシン(5)1Aから緩徐静注。消失するまで。
	発作直後	ダイアップ座薬(4)1コ挿肛 フェノバル(100)0.5A筋注

※注意

眠気(過鎮静)

ふらつき(転倒)、呂律不良、**呼吸抑制**←筋弛緩作用

脱抑制、せん妄

依存形成(耐性)、退薬症状(離脱症状)

認知機能障害

※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

□使用例

		薬剤
うつ不安	軽度	レクサプロ、ジェイゾロフト
	中等度～重度	リフレックス
意欲低下		サインバルタ、イフェクサー
うつ不安＋意欲低下		イフェクサー、サインバルタ、
パニック発作		ジェイゾロフト、パキシル、ルボックス
食欲低下		ドグマチール、リフレックス
うつ不眠		デジレル、テトラミド、リフレックス
強迫		パキシル、ルボックス
疼痛		サインバルタ、トレドミン
高齢		ジェイゾロフト、ドグマチール少量

※注意

賦活症候群:不安焦燥、衝動性→自殺リスク

急激な増量→セロトニン症候群:ミオクローヌス、自律神経症状

急激な減量→中断症候群:自律神経症状

■抗うつ薬

	一般名	商品名	用量用法	作用				副作用		備考				
				抗うつ	意欲↑	食欲↑	鎮静	嘔気	便秘					
S-RIM	ボルチオキセチン	トリンテリックス	10-20mg	+	+	0	0	0	0	性機能障害なし				
NaSSA	ミルタザピン	リフレックス	15-45mg/1x眠	++	+	+	++	0	0					
SNRI	ベンラファキシン	イフェクサー	75-225mg/1x食後	+	++				+	0	低用量でSSRI			
	デュロキセチン	サインバルタ	20-60mg/1x朝								疼痛にも			
	ミルナシプラン	トレドミン	12.5-100mg/2x											
SSRI	エスシタロプラム	レクサプロ	10-20mg/1x	+	0	0	0	+	0					
	セルトラリン	ジェイゾロフト	25-100mg/1x											
	パロキセチン	パキシル	5-50mg/1x							++		++	+	慎重:未成年
	フルボキサミン	ルボックス	25-150mg/2x							+			+	
その他	スルピリド	ドグマチール	25-600mg/3x	+	+	++	0	0	0	抗精神病薬				
	トラゾドン	デジレル	25-200mg1x	±	±	+	++	+	0	睡眠補助				
四環系	ミアンセリン	テトラミド	10-60mg/1x					0	+					
三環系	アミトリプチリン	トリプタノール	30-250mg/3x	++	+	++	++	0	++	夜尿症にも				
	クロミプラミン	アナフラニール	30-250mg/3x			+	+			点滴剤も				

■気分安定薬

	一般名	商品名	用量用法	血中濃度	作用		副作用、備考
					抗躁	抗うつ	
元祖	リチウム	リーマス	100-1200mg/2x	0.3-1.2	+	+	振戦、脳波異常
抗てんかん薬系	バルプロ酸	デパケン	100-1200mg/2x	50-125	+	±	シロップ剤も
	カルバマゼピン	テグレトール	100-1200mg/2x	4-12	+	±	相互作用
	ラモトリギン	ラミクタール	25-400mg/1-2x	—	±	++	注意:バルプロ酸
抗精神病薬系	アリピプラゾール	エビリファイ	3-15mg/1x		++	+	禁忌:糖尿病
	オランザピン	ジプレキサ	2.5-20mg		++	++	
	クエチアピン	ビプレツソ	50-300mg/1x眠		+	++	
	ルラシドン	ラツォダ	20-60mg/1x食後	+	++		

□使用例

			薬剤
不穏時 (急性期)	経口可 (内服)	軽度	セロクエル25mg、リスパダール1mg、ジプレキサ5mg
		重度	レボトミン25mg
		高齢	リスパダール0.5mg、デジレル25mg
	経口不可	筋注	ジプレキサ10mg、セレネース5mg、レボトミン25mg
		点滴	セレネース5mg＋生食50ml ロヒプノール(2)1A＋生食50ml ※入眠直後で中止 & SpO2モニタ
慢性期			エビリファイ、リスパダール、ジプレキサなど

※注意

抗ドパミン作用： 錐体外路症状： **パーキンソン症状**(手指振戦、筋強剛、無動)、急性ジストニア、アカシジア、遅発性ジスキネジア

悪性症候群： 高熱、筋強剛

高プロラクチン血症：女性化乳房、乳汁分泌、月経異常

抗ノルアドレナリン作用：過鎮静、射精障害、起立性低血圧、不整脈(QT延長)←**循環抑制**

抗コリン作用：便秘、口渇(→水中毒)、尿閉、霧視、認知機能障害

抗ヒスタミン作用：傾眠、耐糖能異常

その他：肝障害、血球減少、けいれん、ピサ症候群

※禁忌

全身状態不良、昏睡、麻酔下、エピネフリン←抗ノルアドレナリン作用

□使用例

		薬剤
躁状態	急性	ジプレキサ、エビリファイ
	維持	リーマス、デパケン
	急速交代	デパケン
うつ状態	急性	ラツーダ、ビプレツソ、オランザピン
	維持	リーマス、ラミクタール
情緒不安定		デパケン
高齢		デパケン